

# 11

NOV/2010/Vol. 68

広報

# 東峰

# TOHO

E-mail: [kikaku@vill.toho.fukuoka.jp](mailto:kikaku@vill.toho.fukuoka.jp) URL: <http://www1.vill.toho.fukuoka.jp>

小石原皿山地区：太田熊雄窯元の登り窯です

福岡県東峰村

毎月 15 日発行

11月号は『議会だより』との合併号となっています。  
『議会だより』は裏面からご覧下さい。

# おらが村の ニュース&

今回も行列ができました！

## 秋の民陶むら祭

10月9日(土)～11日(祝・月)の3日間、秋の民陶むら祭が行われました。メイン会場の小石原焼伝統産業会館には、毎回好評のフリーカップ絵付け体験、七寸皿絵付け体験、七寸皿飛び匏制作体験等には、開始時刻前より長蛇の列ができ大盛況でした。また、道の駅で行われた「新米の無料つかみ取り」にも長い列ができ、1日2俵のお米が3日間共あっという間になくなりました。心地よい秋風の中、多くの観光客で賑わった民陶むら祭でした。



## 閉校イベント行事

### ありがとう!小石原小学校

10月31日(日)に平成23年4月東峰学園開校に伴い閉校となる小石原小学校に於いて、その長い歴史と伝統に感謝をこめて「ありがとう!小石原小学校」が開催されました。1～3年生は「昔遊び体験」、4年生は「そば料理に挑戦」、5・6年生は「みんなで考えよう これからの小石原」の学習参観が行われた後、体育館横において餅つきが行われ3つの臼を子ども達も交代でついていましたが、重たそうに杵を持つ1・2年生、しっかり振り上げる子どもと皆、とても楽しそうでした。午後は、中高生のバンド演奏、保護者等の和太鼓「修験童」の演奏、そして、思い出シアター上映では小石原小学校卒業生の懐かしい顔が映し出されると会場がどよめいていました。

最後に運動場で児童・保護者等参加者総勢約300名で「小石原」の人文字を作り、イベントが終了しました。



# トピックス

東峰中学校だより

## 朝倉市郡中体連新人体育大会

10月2日(土)に朝倉市郡各所で朝倉市郡中体連新人体育大会が行われ、1年生は初めての中体連公式戦として新人大会に参加しました。夏の大会が終わり3年生から部活のリーダーを引き継いだ2年生のキャプテンを中心に練習に頑張ってきました。大会を終えて課題を確認し、来年夏の大会を最終目標とし、これからも練習に励んでください。大会の結果は次のとおりです。

卓球	・女子団体	優 勝		
	・男子団体	惜 敗		
	・女子個人	優勝	野寄衣里菜さん	
		2位	梶原あゆみさん	
		3位	森山 りなさん	
・男子個人	3位	岩下 壮くん		
バレーボール男子	3位			
バレーボール女子	惜敗			
バスケットボール男子	惜敗			



女子卓球部は11月27日(土)に柳川市民体育館で行われる筑後地区中学校総合体育大会への出場権を得ています。大会までに練習を重ね、朝倉市郡の代表として頑張ってください。

## 第41回ジュニアオリンピック競技大会結果

10月23日(土)・24日(日)横浜市日産スタジアムで行われたジュニアオリンピック競技大会の3,000mに出場していました、東峰中3年生の井上佳恵さんは、決勝に進み、予選タイムから5秒縮めた9分37秒64という自己ベストの好記録で全国9位入賞の快挙を果たしました。毎日の練習と強い精神力によるものだと思います。今後も練習を積み、更なる目標に向かって頑張ってください。

東峰中学校卒業生も頑張っています

## 第28回全九州高等学校新人陸上競技大会

東峰中学校時代も陸上で活躍していました、宝珠山板屋地区出身の室井勇吾さん(日本文理大附属高校2年)、小石原中央地区出身の福島美和子さん(筑紫女学園2年)は10月8日(金)~10(日)熊本県民総合運動公園陸上競技場で行われた第28回全九州高等学校新人陸上競技大会に於いて、男子3,000m障害、女子800mでそれぞれ優勝されました。おめでとうございます。今後も厳しい練習に励み頑張ってください。大会の結果は下記のとおりです。



氏名	種目	記録	結果
室井 勇吾君	3,000 m障害	9 15 77	優 勝
福島美和子さん	800 m	2 09 81(大会新)	優 勝
	400 m	56 74	4 位
	4 x 400 mリレー	4 01 00	7 位

室井 勇吾さん

福島 美和子さん



自分の職場、地域は自分で守る

## 第18回消火競技大会

10月21日(木)第18回消火競技大会が甘木・朝倉防災協会と甘木・朝倉消防本部の主催で開催されました。職場や地域の自衛消防隊員や婦人防火クラブ員が『自分の職場、地域は自分で守る』というスローガンのもと、当村からは、特別養護老人ホーム清和園の大蔵善秀さんと井上秀樹さんが出場され、わやかな秋晴れの下、日頃の訓練成果を披露されました。皆様お疲れ様でした。



梶原芳郎氏

人権擁護委員の交代がありました

## 法務大臣感謝状贈呈

平成 16 年 10 月より 2 期 6 年、人権擁護委員を勤めていただいた鶴地区の梶原芳郎氏が 9 月末で退任され、10 月 4 日に宝珠山庁舎村長室において、福岡法務局朝倉支局長より、法務大臣感謝状が贈呈されました。長い間お疲れ様でした。また、後任には鶴地区の梶原正且氏が就任されました。宜しくお願いいたします。

森林浴と芸術体験

## 秋体験ウォーキング

今年で 2 回目となる秋体験ウォーキングが 10 月 23 日（土）に行われ、41 名の参加者がありました。受付後、地図を片手にそれぞれ小石原森林公園の遊歩道、約 4.5 km のウォーキングに出発。途中 5 ヶ所でスタンプを押してもらいながら、早い方は 1 時間で戻って来られました。昼食は「東峰そんみん塾」の皆さん手づくりの料理がずらりと並んだバイキングに舌鼓をうち、皆さん満足げの様子でした。午後からは、5 軒の窯元に分れての陶芸体験とクラフト体験が行われ、陶芸ではロクロを回したり手ひねりをして、クラフトでは森の木々や実などを利用して、思い思いの作品を作成し、楽しんでいただけたようです。ご協力頂いた皆さん、ありがとうございました。



## 高倉村長

## 10月16日～11月15日の動き

### 10月

- 17（日）宝珠山ふれあい運動会
- 19（火）東峰村 21 会議
- 22（金）小石原陶の里役員会
- 24（日）区長会研修 ～ 25 日
- 26（火）東峰村議会臨時議会
- 27（水）治山林道協会県外視察研修 ～ 29 日
- 31（日）ありがとう小石原小学校

村長の行動記録からいくつかを抜粋し紹介したものです。

### 11月

- 1（月）東峰テレビ（CATV）開局
- 2（火）甘朝三井環境施設組合視察研修
- 5（金）秋まつり農林産物品評会
- 6（土）一人暮らし高齢者の集い
- 7（日）第 6 回東峰村秋まつり
- 8（月）東峰村人権協議会理事会
- 11（木）東峰村国・県道期成会

## 投稿掲示板

### 「介護～ 父へ」

丈夫で元気だった父も逝ってしまい、家の中に大きな穴が空いたようです。

迷惑な話ですが「人に厳しく 家族に優しい」父でした。

21年間勤めた中学校。大好きだった子供達と別れ、父の介護を選んだ私。退職を指折り数え、いちばん喜んでくれたのは父でした。4月1日より介護1年生の私。

病室に入ると優しい父の「笑」が迎えてくれ、帰りは「気をつけて帰りなよ」と優しい父の声が送ってくれる。

父の好物を作り、病院食はそっとビニール袋に持ち帰った。髭剃り、爪切り、お喋り。日を重ねるごとに仕事も増え、食事介助にマヒした右手足のマッサージ等々。

何十年ぶりだろう父の手に触れるのは、マヒした冷たい手、私流りハビリでジャンケンをした。マヒした手はグーかチョキが分からない。父が笑い、私も笑った。

病室で89歳のバースデーを迎えた。ケーキいっぱいのおウソク。父にはローソクを吹き消す力はなく、横から息子が加勢をした。

いつしか病室から「笑」は消え、私はベットの横に立ち竦む日々を送った。「じいちゃん」と耳元で声をかけると、あの大きな体から残された全力で私の手を握った。父からは想像もできない程、弱々しい力だったけど、いっぱいの「ありがとう」が伝わり、私は父の手を強く握り返し、いっぱいの「ありがとう」を返した。

6ヶ月という短い介護でしたが、疲れた時、いつでも交代してくれる兄がいたからこそできた、兄妹二人の最後の親孝行でした。

いつでも家族の声が聴けるように持たせた携帯電話、もう二度とかかってくることはないでしょう。父の待っている病院へ通った道も、今は辛く悲しい道へと変わってしまいました。

またいつか父との楽しい思い出の道になる日がくることを信じて。

西原 久美子

## 東峰そんみん塾 パソコン教室受講生募集

東峰そんみん塾では、村の高速インターネット環境を有効に活用できるように、村民のみなさんの求めに応じた個別指導のパソコン教室を開催します。

パソコンは、思ったよりも簡単で便利な道具です。中学生からシニアの方まで、どなたでも参加できますので、お気軽にご応募ください。

■ 開催日：11月24日(水)、30日(火)、12月7日(火)の3回開催

■ 時間：午後7時30分～2時間程度

■ 場所：村の駅「さくら」2階（東峰村メディアカフェ）

■ 受講料：無料

■ 講師：東峰そんみん塾

■ 募集定員：10名（定員になり次第締め切ります）

■ 内容：受講者の希望に合わせた内容を、個別指導いたします。

例⇒文書作成（ワード）、表計算（エクセル）、年賀状作成、デジタルカメラ画像処理、ホームページ作成（ビルダー初級）、CAD、インターネット、メールなど

※申込者には事前に電話で希望をお聞きます。

■ 申込先：東峰村役場 企画振興課 日野まで（電話：74-2311）

※パソコンは用意しますが、ノートパソコンをお持ちの方は持参ください。





# 村からのお知らせ



宝珠山庁舎 72-2311  
小石原庁舎 74-2311

## 教育委員会

平成 22 年度 全国学力・学習状況調査及び福岡県学力実態調査の結果  
についてのお知らせ

東峰村教育委員会

### 【 】 全国学力・学習状況調査

実施日 平成 22 年 4 月 20 日 (火) 対象 小学 6 年生 中学 3 年生  
調査の内容 ・教科に関する調査 (小学校:国語,算数)(中学校:国語,数学)

A:主として知識 B:主として活用

・児童生徒質問紙調査 (日常の生活習慣について質問形式で調査したもの)

#### 1 教科に関する調査について

##### < 小学校の概要 >

2 教科ともに全国標準並みでした。国語においては、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言語事項」の全てにおいて上昇の傾向にあります。今後も、現在取り組んでいることを継続していくことが大切です。算数においては、基礎・基本の定着を図りながら、活用する力をつけていく指導をさらに充実させていくことが大切です。

国語 A	国語 B	算数 A	算数 B
101	101	100	100

(全国標準を 100 とする。)

##### < 中学校の概要 >

2 教科ともに全国標準を下回りました。国語については「書く能力」、数学については「数量関係」「数学的な見方や考え方に課題があります。今後は、基礎的・基本的な問題についての繰り返しの指導や実生活で活用できる力を付ける必要があります。

国語 A	国語 B	数学 A	数学 B
97	98	93	94

(全国標準を 100 とする。)

#### 2 児童生徒質問紙調査について

##### < 小学校の概要 >

基本的な生活習慣に関しては、「地域の行事に参加している」「地域の人へのあいさつをする」は、全国標準より上回っています。しかし、「家庭学習の時間が短い」「家庭での読書の時間が少ない」などの課題がみられます。特に、家庭学習においては、その日に学習した内容を復習することが大切です。

全体を通してみると、規則正しい生活をし、満足感のある児童は学力が身に付く割合が高いといえます。

今後も、学校と家庭が連携して、よさを伸ばすとともに、生活を改善していくことが必要です。

##### < 中学校の概要 >

生活習慣や学習環境に関する調査の結果からは、「読書が好き」「地域の人へのあいさつをする」は、全国標準より上回っています。しかし、「家での復習の時間が短い」「苦手な教科の家庭学習が少ない」などの課題があります。全体的にはおおむね満足できる結果となっていますが、学習面で、自分で計画して家庭学習を進めたり、家庭学習の時間を増やしたりする必要があります。今後は、学校と家庭が一層連携し家庭学習の定着に努める必要があります。

【 】 福岡県学力実態調査

実施日 平成 22 年 6 月 18 日 ( 金 )  
 対 象 小学 6 年生 中学 3 年生  
 調査の内容 ・ 教科に関する調査 ( 小学校 : 社会、理科 )  
 ( 中学校 : 社会、理科、英語 )  
 A : 主として知識 B : 主として活用

< 小学校の概要 >

2 教科とも県平均を上回っています。今後も、現在の学習の仕方を維持し、予習・復習を積み重ねることが大切です。

小学校	社 会			理 科		
	全体	A	B	全体	A	B
村平均	56.5	58.2	49.3	67.7	72.2	60.8
県平均	50.6	53.0	40.0	62.3	65.8	56.9

< 中学校の概要 >

3 教科とも県平均を下回っています。社会は「資料の活用」、理科は「観察・実験の技能」、英語は「話すなどの表現能力」に課題があります。今後は、社会や英語では資料を活用する力や表現力を付ける指導など活用する能力を、理科では基礎的・基本的な知識を身に付ける必要があります。また、復習を中心とした家庭学習の定着に努める必要があります。

中学校	社 会			理 科			英 語		
	全体	A	B	全体	A	B	全体	A	B
村平均	31.4	34.0	24.3	42.4	40.0	50.0	57.2	64.3	45.0
県平均	41.2	44.0	33.4	47.8	48.2	46.5	61.0	68.5	49.0

【 】 今後の学力向上の取り組み

学校においては、それぞれの学校が行った改善ポイントの分析を生かした授業づくりや、北筑後教育事務所の学力支援チームによる指導・支援の依頼などを通して、日々の授業力向上を図っていきます。また、学力向上のためには、学校と家庭との連携が大切です。生活実態調査の結果から、生活習慣や学習習慣がきちんと身につけていない部分があることがわかりました。福岡県教育力向上県民運動や P T A 活動とも連携をとりながら、生活習慣や家庭学習の定着をさらに図っていきます。

お問い合わせは

東峰村教育委員会 ( 電話 : 72 2301 ) まで

住民福祉課

東峰村男女共同参画むらづくり審議会委員を公募します。

男女共同参画のむらづくりに、村民の皆さんの幅広いご意見を反映させるため「男女共同参画むらづくり審議会」委員を公募します。

応募資格 : 村内在住の満 20 歳以上の方 ( 平成 22 年 4 月 1 日現在 )  
 募集人数 : 2 名 ( 応募者多数の場合は選考となります )  
 募集期間 : 11 月 1 日 ( 月曜日 ) ~ 11 月 25 日 ( 木曜日 )  
 任 期 : 平成 22 年度末 ( 平成 23 年 3 月 31 日 ) まで  
 応募方法 : 住民福祉課・総合窓口にある所定の応募用紙に必要事項を記入し、ご応募ください。  
 そ の 他 : 委員は費用弁償があります  
 お問い合わせ先 : 東峰村役場住民福祉課男女共同参画推進係 ( 7 4 2 3 1 1 )

お問い合わせは

東峰村役場 小石原庁舎 住民福祉課 ( 電話 : 74 2311 ) まで



# よくわかる 農業者年金 No.3

## 農業者年金は安心して加入できる制度ですか？

### 加入者・受給者数の変化を受けにくい 積立方式で少子高齢化時代でも安心！

自らが積み立てた保険料とその運用実績により将来受け取る年金額が決まる積立方式(確定拠出型)の年金です。加入者や受給者の数に左右されにくい少子高齢化時代を先取りした長期的に安定した制度となっています。

保険料など年金資産は、農業者年金基金が国内債券を中心に分散投資による安全かつ効率的な運用を行い、積立・運用状況は毎年6月末までに加入者全員にお知らせします。年金資産の運用はプラスになる年ばかりではなく、マイナスになる年もありますが、長期的に運用することにより、安定した運用収益を上げることが期待できます

農業者年金には、①国民年金の第1号被保険者で、②年間60日以上農業に従事する、③60歳未満の方——ならどなたでも加入できます。

## 独立行政法人 農業者年金基金

〒105-8010 東京都港区西新橋1-6-21 NBF虎ノ門ビル5F  
電話：03(3502)3942 FAX：03(3592)2660 <http://www.nounen.go.jp>

年金資産の運用実績

(単位：百万円)

	運用収益	運用利回り
16年度	1,690	3.40%
17年度	6,603	9.80%
18年度	2,923	3.27%
19年度	-5,047	-4.73%
20年度	-10,765	-9.25%
21年度	10,849	9.14%



一人ひとりの農業者を応援する農業者年金に加入しましょう！

## 人の動き

東峰村(平成22年10月末現在)			あさくら地域(平成22年10月末現在)		
		前月比			前月比
人口	2,578	-5	人口	90,037	+9
男	1,200	-2	男	42,515	+16
女	1,378	-3	女	47,522	+3
世帯数	930	+1	世帯数	31,118	+32

### 今月の納税

税目 国民健康保険税 第5期  
納期限 11月30日(火)  
口座振替日 11月25日(木)

### 東峰村ごみ収集量(平成22年10月分)(kg)

種別	当月分	前月分	増減
可燃ごみ	38,020	34,620	3,400
資源ごみ	5,170	5,420	▲250
粗大ごみ	1,150	930	220
合計	44,340	40,970	3,370



## 東峰村地域情報通信基盤整備工事竣工式

11月1日（月）午前11時より東峰村地域情報通信基盤整備工事の竣工式が宝珠山基幹集落センターで開催されました。式では、高倉村長のあいさつの後、福岡県情報政策課小倉課長、福岡県議会の林副議長、前衆議院議員の原田義昭氏、村議会の森山議長より祝辞のあいさつをいただきました。その後、設計業者の（株）イーエムトラストと施工業者の西日本システム建設（株）に感謝状と記念品の贈呈が行われました。



竣工式であいさつをする高倉村長

## 「とうほうテレビ」が開局！

11月1日（月）正午に「とうほうテレビ」が開局しました。当日は開局記念として特別番組「とうほう大感謝祭」を2時間にわたって生放送しました。第1部では、高倉村長から開局のあいさつの後、福岡県知事の開局メッセージを県情報政策課小倉課長より代読いただき、また福岡県議会の林副議長から祝辞のこたばをいただきました。その後、慶應義塾大学の国領先生と飯盛先生とのインターネットを活用したテレビ会議による対談を予定していましたが、放送直前の回線トラブルにより、電話での対談となりました。今後は光インターネットが利用できるようになればこういった回線の問題も解消されることとなります。

第2部では、村が番組制作を委託している（株）プリズムの岸本氏をメインプロデューサーに、住民ディレクターを代表を代表して、梶原伯夫さんと梶原京子さんの司会進行により、小石原運動会や宝珠山の竹地区などの映像を交えながら、楽しく放送を行っていただきました。今後は、多くの村民の皆さんに「とうほうテレビ」に出演していただきたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



▲左から高倉村長、林副議長、小倉課長、小林教育課長（司会）



▲左から岸本氏、梶原伯夫氏、梶原京子氏



▲宝珠山庁舎内の編集・調整室



▲放送機器

## ★テレビチャンネル一覧★

CH	放送局	
1	KBC	九州朝日放送
2	NHK(教)	NHK 教育テレビ
3	NHK(総)	NHK 総合
4	RKB	毎日放送
5	FBS	日本テレビ
7	TVQ	九州放送
8	TNC	テレビ西日本
11	TTV	とうほうテレビ

※村のお知らせ 朝6:30 昼12:30 夜8:50  
(切り取って見やすいところに貼って、お使い下さい)

## 便利な番組表の機能をご存じですか？

地上デジタル放送では、大変便利な番組表の機能が付いています。テレビリモコンの番組表ボタンを押すと、各チャンネルごとに、毎日の番組表が表示されます。「とうほうテレビ」も下のように表示されますので、ぜひご活用下さい。



▲番組表のボタン

▼テレビに表示される番組表の一覧



※メーカーによって、ボタンや表示方法などは異なります

# 東峰村 財政事情の公表

地方自治法第 243 条の 3 第 1 項、地方公営企業法第 40 条の 2 第 1 項及び東峰村「財政事情」の作成及び公表に関する条例第 2 条第 1 項の規定に基づき、本村の財政事情を次のように公表します。

## 東峰村の財政状況

### 1. 平成 21 年度一般会計及び各特別会計歳入歳出決算のあらまし

一般会計決算は、歳入総額 3,004,577 千円に対して、歳出総額が 2,807,790 千円で、差し引き 196,787 千円の黒字決算となりました。

#### 平成 21 年度 一般会計歳入歳出決算

(単位：千円)

歳 入					歳 出				
目的別	予算額	調定額	収入済額	構成比率	目的別	予算額	支出済額	翌年度繰越額	構成比率
1 村税	152,610	170,422	154,224	5.1%	1 議会費	44,049	43,817		1.6%
2 地方譲与税	19,315	19,654	19,654	0.7%	2 総務費	(169,707)	(166,177)	(0)	(5.9%)
3 利子割交付金	599	587	587	0.0%			1,864,548	1,172,394	655,925
4 配当割交付金	100	169	169	0.0%	3 民生費	319,896	302,445		10.8%
5 株式等譲渡所得割交付金	10	94	94	0.0%	4 保健衛生費	171,963	156,034		5.6%
6 地方消費税交付金	28,550	25,632	25,632	0.9%	6 農林水産費	127,458	99,299	21,300	3.5%
7 自動車取得税交付金	7,044	6,975	6,975	0.2%	7 商工費	(3,872)	(3,871)	(0)	(0.1%)
8 地方特例交付金	1,386	3,896	3,896	0.1%			56,766	56,082	
9 地方交付税	1,535,385	1,682,270	1,682,270	56.0%	8 土木費	90,459	39,276	37,000	1.4%
一般財源計	1,744,999	1,909,699	1,893,501	63.0%	9 消防費	100,455	87,210	7,930	3.1%
10 交通安全対策特別交付金	584	569	569	0.0%	10 教育費	345,212	170,690	149,130	6.1%
11 分担金及び負担金	45,773	43,191	31,551	1.1%	11 災害復旧費	23,975	23,080		0.8%
12 使用料及び手数料	29,933	31,513	26,105	0.9%	12 公債費	634,232	633,571		22.6%
13 国庫支出金	(161,103)	(142,971)	(142,971)	(4.8%)	13 諸支出金	23,893	23,893		0.9%
	1,242,225	507,044	507,044	16.9%	14 予備費	3,000	0		
14 県支出金	150,758	117,612	117,612	3.9%	合 計	(173,579)	(170,048)	(0)	(6.1)
15 財産収入	12,254	9,064	9,063	0.3%		3,805,906	2,807,790	871,285	100
16 寄附金	630	3,120	3,120	0.1%	( ) 書は 20 年度繰越事業分の内訳				
17 繰入金	187,494	82,425	82,425	2.7%	歳入の概要として、一般財源では 59,263 千円( 3.2%) の増となりました。これは、地方交付税の制度改正により、昨年度から地方再生対策費が新たに創設されたことに伴い、本年度も普通交付税 55,260 千円の増となったことが大きな要因です。地方交付税は、地方税収の伸びがあまり期待できない団体に比較的有利に配分されますが、国全体では経済情勢の悪化により交付税財源が不足している状況ですので本村にもいつ影響が波及するか予断は許さないところです。				
18 繰越金	(12,476)	(30,250)	(30,250)	(1.0%)					
	80,476	98,735	98,735	3.3%					
19 諸収入	87,267	86,739	86,739	2.9%					
20 村債	223,513	148,113	148,113	4.9%					
合 計	(173,579)	(173,221)	(173,221)	(5.8%)					
	3,805,906	3,037,824	3,004,577	100					

( ) 書は 20 年度繰越事業分の内訳

村税につきましては154,224千円(前年度比-5.8%)となり、歳入総額の5.1%を構成します。20年度と比較しますと、9,472千円の減となりました。これは、村民税が2,709千円の減、固定資産税6,567千円の減が主なものです。収納率を見ますと現年度課税分は95.8%で、昨年より1%程下がっています。

また、過疎対策事業や財源不足補てんのため借り入れた村債は148,113千円で平成20年度より106,592千円の減となりました。これは経済対策臨時交付金による事業の推進により、一般建設事業債の借入が減少しました。

平成21年度 一般会計歳入歳出決算の性質別構成及び前年比

(単位:千円)

歳 入					歳 出						
性 質 別	21年度	割合	20年度	増減率	性 質 別	21年度	割合	20年度	増減率		
自主財源	村税	154,224	5.1%	163,696	5.8%	人件費	(62)	(0.0%)	(0)	(皆増)	
	分担金及び負担金	31,551	1.1%	23,121	36.5%			547,896	19.5%	583,808	6.2%
	使用料及び手数料	26,105	0.9%	24,370	7.1%	扶助費	74,977	2.7%	77,697	3.5%	
	財産収入	9,063	0.3%	39,952	77.3%	公債費	633,571	22.6%	656,569	3.5%	
	寄附金	3,120	0.1%	1,812	72.2%	物件費	(1,074)	(0.0%)	0	(皆増)	
	繰入金	82,425	2.7%	40,664	102.7%			423,833	15.1%	431,638	1.8%
	繰越金	(30,250)	(1.0%)	(10,300)	(193.7%)	維持補修費	4,268	0.2%	2,483	71.9%	
		98,735	3.3%	68,733	43.7%	補助費等	(21,204)	(0.8%)	(0.0)	(皆増)	
	諸収入	86,739	2.9%	130,496	33.5%			296,309	10.6%	293,812	0.8%
	小 計	(30,250)	(1.0%)	(10,300)	(193.7%)	積立金	7,593	0.3%	85,625	91.1%	
491,962		16.4%	492,844	0.2%	繰出金	165,284	5.9%	158,893	4.0%		
依存財源	地方譲与税	19,654	0.7%	21,104	6.9%	投資及び出資金、貸付金	0	0.0%	200	(皆減)	
	利子割交付金	587	0.0%	721	18.6%	普通建設事業費	(147,708)	(5.3%)	(23,239)	(535.6%)	
	配当割交付金	169	0.0%	200	15.5%			620,030	22.1%	381,729	62.4%
	株式等譲渡所得割交付金	94	0.0%	78	20.5%	内 訳	補助事業費	162,874	5.8%	171,140	4.8%
	地方消費税交付金	25,632	0.9%	24,085	6.4%			(147,708)	(5.3%)	(23,239)	(535.6%)
	自動車取得税交付金	6,975	0.2%	10,610	34.3%			456,544	16.3%	184,200	147.9%
	地方特例交付金	3,896	0.1%	1,418	174.8%		県営事業負担金	612	0.0%	26,389	97.7%
	地方交付税	1,682,270	56.0%	1,612,326	4.3%	失業対策事業費	10,949	0.4%	0	(皆増)	
	内 訳	普通交付税	1,410,385	46.9%	1,355,125	4.1%	災害復旧事業費	23,080	0.8%	9,903	133.1%
		特別交付税	271,885	9.0%	257,201	5.7%	合 計	(170,048)	(6.1%)	(23,239)	(631.7%)
	交通安全対策特別交付金	569	0.0%	540	5.4%			2,807,790	100.0%	2,682,357	4.7%
	国庫支出金	(142,971)	(4.8%)	(0)	(皆増)	<p>( )書は20年度繰越事業分の内訳            一方、歳出の概要として、人件費・扶助費・公債費による義務的経費は平成20年度と比較しますと61,630千円(4.7%)の減となりました。内訳として、職員等の退職により人件費が35,912千円(6.2%)の減、児童措置費の減により扶助費が2,720千円(3.5%)の減、公債費が22,998千円(3.5%)の減となりました。            また、主な歳出事業費をあげますと、広域鳥獣被害防止対策費(102,552千円)、消防防災設備費(37,671千円)、鼓の里施設整備(17,184千円)等13事業を実施しました地域活性化・経済危機対策事業(293,688千円)をはじめに、繰越事業であります地域活性化・生活対策事業(143,837千円)で棚田親水公園駐車場整備(30,000千円)、岩屋公園管棟整備(37,780千円)等9事業及び定額給付金給付事業(22,340千円)を実施しました。</p>					
		507,044	16.9%	236,781	114.1%						
県支出金	117,612	3.9%	125,681	6.4%							
村 債	(0)	(0.0%)	(13,000)	(皆減)							
148,113	4.9%	254,705	41.8%								
小 計	(142,971)	4.8%	(13,000)	999.8%							
	2,512,615	83.6%	2,288,249	9.8%							
合 計	(173,221)	5.8%	(23,300)	(643.4%)							
	3,004,577	100.0%	2,781,093	8.0%							

( )書は20年度繰越事業分の内訳

各特別会計については、それぞれ会計設置の趣旨・目的に従って適切に執行されました。簡易水道事業特別会計については、歳入 66,025 千円に対し、歳出 65,482 千円で実質収支額 543 千円の黒字になりました。国民健康保険事業特別会計は歳入 358,602 千円に対して、歳出 353,602 千円で実質収支額は 5,000 千円の黒字になりました。老人保健事業特別会計では、歳入 4,135 千円に対し、歳出 550 千円で実質収支額は 3,585 千円の黒字となりました。また、平成 21 年度より特別会計となりました後期高齢者医療事業は歳入 39,136 千円に対して、歳出 38,015 千円で実質収支額は 1,121 千円の黒字になりました。以上が平成 21 年度の決算の概要です。

平成 21 年度 特別会計決算				(単位：千円)	
会計	予算額	収入済額	支出済額	摘 要	
簡易水道事業 特別会計	67,055	66,025	65,482	経営費	34,842
				公債費	30,640
国民健康保険事業 特別会計	453,470	358,602	353,602	保険給付費	223,260
				後期高齢者支援金	40,155
				共同事業拠出金	43,372
				その他	46,815
老人保健事業 特別会計	4,018	4,135	550	償還金	546
				その他	4
後期高齢者医療 特別会計	45,516	39,136	38,015	広域連合納付金	37,875
				その他	140

平成 21 年度 村税の状況							(単位：千円)
会計	区 分	調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
一 般	村民税	64,184	60,531	212	3,441	94.3%	
	固定資産税	92,778	80,636	405	11,737	86.9%	
	軽自動車税	6,621	6,218	26	377	93.9%	
	村たばこ税	6,839	6,839	0	0	100.0	
	合 計	170,422	154,224	643	15,555	90.5%	
国保	国民健康保険税	60,677	52,708	9	7,960	86.9%	

村税負担の状況			(単位：円)
区 分	一世帯当たり 負担額	一人当たり 負担額	
村民税	65,017	23,299	
固定資産税	86,612	31,038	
軽自動車税	6,679	2,393	
村たばこ税	7,346	2,632	
国民健康保険税	56,614	20,288	

本表は平成 22 年 3 月 31 日現在の住民基本台帳の世帯数及び人口を基準に算出したものです。(世帯数 931 世帯、人口 2,598 人)

村有財産の状況			
区 分	現 在 高	摘 要	
土 地	1,088,878.00 m <sup>2</sup>	行政財産	420,873.00 m <sup>2</sup>
		普通財産	668,005.00 m <sup>2</sup>
建 物	37,862.93 m <sup>2</sup>	行政財産	37,630.00 m <sup>2</sup>
		普通財産	232.70 m <sup>2</sup>
有 価 証 券	509,817 千円	㈱小石原陶の里	12,500 千円
		(有) 鼓の里	2,000 千円
		甘木鉄道(株)	600 千円
出資による権利	2,421,911 千円	㈱宝珠山ふるさと村	235,000 千円
		福岡県災害共済基金	214,917 千円
		広域圏他 4 件	59,900 千円
基 金	2,421,911 千円	財政調整基金	579,077 千円
		減債基金	200,713 千円
		振興開発基金	201,499 千円
		合併振興基金	991,549 千円
		他 11 件	449,073 千円

本表は、平成 22 年 3 月 31 日現在において、村が所有している財産の状況を表したもので、建物には庁舎・消防施設・村営住宅・学校等があります。

村債の現況				(単位：千円)
借 入 先 別	金 額	構成割合		
政府資金	財政融資	1,410,779	42.2%	
	簡 保	106,527	3.2%	
	郵 貯	705,383	21.1%	
金融機構資金		53,262	1.6%	
市中銀行等		675,452	20.2%	
共済組合等		144,443	4.3%	
そ の 他		251,114	7.5%	
合 計	3,346,960	100.0%		

本表は、村が公共施設整備のため政府機関等から借り入れた平成 22 年 3 月 31 日現在の村債の残高です。(公営企業会計で借り入れたものについては含まれていません。)

財政健全化判断比率の状況				
会 計	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
平成 21 年度			20.2%	21.9%
平成 20 年度			21.6%	43.0%
早期健全化基準	15.00%	20.00%	25.0%	350.0%
財政再生基準	20.00%	40.00%	35.0%	

# 平成 22 年度予算の執行状況

平成 22 年度 一般会計予算執行状況					(単位：千円)			
歳 入				歳 出				
目的別	予算額	収入済額	割合	目的別	予算額	支出済額	割合	
1 村税	153,302	101,349	66.1%	1 議会費	40,953	19,273	47.1%	
2 地方譲与税	19,656	5,680	28.9%	2 総務費	(655,925)	(11,497)	(1.8%)	
3 利子割交付金	599	227	37.9%		832,645	313,031	37.6%	
4 配当割交付金	100	64	64.0%	3 民生費	342,538	145,669	42.5%	
5 株式等譲渡所得割交付金	10	0	0.0%	4 保健衛生費	176,897	64,082	36.2%	
6 地方消費税交付金	24,550	14,535	59.2%	6 農林水産費	(21,300)	(20,554)	(96.5%)	
9 自動車取得税交付金	4,500	2,106	46.8%		195,215	8,533	4.4%	
10 地方特別交付金	3,234	6,076	187.9%	7 商工費	44,209	16,415	37.1%	
11 地方交付税	1,535,255	1,081,645	70.5%	8 土木費	(37,000)	(34,336)	(92.8%)	
12 交通安全対策特別交付金	584	0	0.0%		20,863	4,816	23.1%	
13 分担金及び負担金	35,099	18,669	53.2%	9 消防費	(7,930)	(0)	(0.0%)	
14 使用料及び手数料	23,207	9,157	39.5%		135,361	71,607	52.9%	
15 国庫支出金	(691,299)	(382,786)	(55.4%)	10 教育費	(149,130)	(57,093)	(38.3%)	
	400,410	13,076	3.3%		788,807	162,050	20.5%	
16 県支出金	(6,629)	(0)	(0.0%)	11 災害復旧費	46,884	21	0.0%	
	276,551	9,622	3.5%	12 公債費	593,292	290,614	49.0%	
17 財産収入	12,305	10,737	87.3%	13 諸支出金	16,965	0	0.0%	
18 寄附金	1,330	550	41.4%	14 予備費	3,000	0	0.0%	
19 繰入金	64,222	0	0.0%	合 計	(871,285)	(123,480)	(14.2%)	
20 繰越金	(111,257)	(111,257)	(100.0%)		3,237,629	1,096,111	33.9%	
	85,530	85,530	100.0%	本表は、平成 22 年 9 月 30 日現在までの予算執行状況を表したものです。 ( ) 書は繰越事業分で下段に加算してください。				
21 諸収入	196,172	20,908	10.7%					
22 村債	(62,100)	(0)	(0%)	合 計				
	401,013	0	0%					
合 計				(871,285)	(494,043)	(56.7%)		
				3,237,629	1,379,931	42.6%		

平成 22 年度 特別会計予算執行状況				(単位：千円)	
会 計	予算額	収入済額	支出済額	摘 要	
簡易水道事業 特別会計	56,422	13,696	23,441	収入割合	24.3%
				支出割合	41.5%
国民健康保険 事業特別会計	398,781	113,626	147,704	収入割合	28.5%
				支出割合	37.0%
老人保健事業 特別会計	3,273	4,435	0	収入割合	135.5%
				支出割合	0.0%
後期高齢者医療 特別会計	48,377	11,561	11,363	収入割合	23.9%
				支出割合	23.5%

本表は、平成 22 年 9 月 30 日現在までの予算執行状況を表したものです。